

は慈悲ありて命を助けぬと懇々仰られ
中務もそを仰りて流しとやりしにあら
しむる悪屋形をも義光公の正者であ
しつゝは世に目くらまされぬ
光安すすゝ成る所紙後の名村上
の合戦の後なるの闘ひ一なるも其の
名をあらけ随分忠切と抽ぐゆゑ今
地へ一回のまゝもなりなむいれを研ぎ

庄内の大將大將とて車隠れり是
大成長義と仰るや傍輩の物候と
すもいん然るも此のめく果が一事
百治郎千石の相違ありともあつ年
木の忠義と出で一なるに免れぬ
但し又初めのものなんば何れのもの
なれども情けなくも利教のひる
一子の受とてわに昔題くはしむ相違